

株式会社ジェイコムイースト 町田・川崎局

2015 年度 放送番組審議会 議事録

【日 時】 2016 年 3 月 24 日(木) 11:00~12:30

【場 所】 株式会社ジェイコムイースト 町田・川崎局 会議室

<放送番組審議会委員>

ご 出 席

飯塚 賢司 様(日向 幸雄 様代理) 五十嵐 広美 様(谷 博夫 様代理)

井上 純 様 福原 信広 様 横田 まさお 様

田中 友章 様

(但し田中委員は所用の為、会途中より出席)

<事業者 : 株式会社ジェイコムイースト町田・川崎局>

町田・川崎局 局長 矢端 雅子

管 理 部 長 長田 裕之

お客さまサービス推進部長 梅田 佳伸

地域プロデューサー 平出 浩二

<事業者 : 株式会社ジュピターテレコム 関東メディアセンター>

神奈川制作グループ長 高橋 武洋

制 作 チーム長 小林 経夫

業務推進グループ 竹安 克哉

1. 開 会

午前 11 時 00 分・定刻に審議会を開会した。

審議会規程の過半数の出席を満たし、会は成立。

事務局提案を受け、会長には横田委員が選任された。

出席委員・事業者が自己紹介。事業者を代表して矢端局長が開会の挨拶を行ったのち、
進行を横田会長に委任し議事に移った。

2. 株式会社ジェイコムイースト 町田・川崎局の現況報告（事業者）

① 会社概要

- ・株式会社ジェイコムイースト 13 局（2016 年 4 月より小田原局が加わり 14 局に）
- ・沿革：1983 年株式会社小田急情報サービスとして設立、2005 年 J:COM グループ局となる
- ・サービスエリア：東京都（稲城市の一部、町田市の一部）
神奈川県（川崎市麻生区・多摩区、横浜市青葉区の一部、相模原市南区の一部）

② トピックス

- ・J:COM 防災情報サービス ・J:COM MOBILE ・J:COM 電力

③ 地域との取り組み

- ・少年野球、サッカー等の大会を開催
- ・県警と協力した犯罪防止活動、サギ対策協議会参加、中学生職場体験受け入れ
- ・地域プロスポーツ団体の協賛、後援（FC 町田ゼルビア他）
- ・行政番組の制作放送（町田市広報番組「まちテレ」 稲城市広報番組「稲城市からのお知らせ」）

④ ジェイコムショップ紹介

- ・鶴川店
- ・自主イベント及び地域行事への参加（フェスタまちだ、多摩区民まつり他）
- ・CS 活動 いきいきプロジェクト（CleanUpOurTown、スマホ・タブレット教室他）

3. J:COM チャンネルの報告（事業者）

① J:COM チャンネル編成方針

- ・地域密着、地域力強化（地域プロデューサー、地域アナウンサーの擁立）
- ・デイリーニュースの定着化

② 主なレギュラー番組、特別番組、生中継番組、県域番組の紹介

- ・レギュラー番組
「デイリーニュース」「タなび（1月からリニューアル）」「がんばれ！ゼルビア」
- ・特別番組
「学童軟式野球大会」「フェスタまちだダイジェスト」「高校野球神奈川大会 生中継」
「高校野球ダイジェスト 2015」「高校野球西東京大会 生中継」
- ・J:テレ（地域発全国放送）
「ご当地サタデー」「浜降祭」「第 10 回湘南国際マラソン」「泉秀樹の歴史を歩く(特番)」

③ 番組のダイジェストを約 16 分にまとめた DVD を視聴

- 「デイリーニュース」「フェスタまちだダイジェスト」「がんばれ！ゼルビア」「ご当地サタデー（石阪町田市長出演）」「学童軟式野球大会」

4. 審議（質疑応答 意見交換）

委員：＜イベント取材していただく事は大事＞

・地域のイベントや野球大会など地元の方に見ていただくのはとても大事な事。

ニュースで明治大学黒川農場の収穫祭取材していただいたが、地元の方でも知らない方が多いのでメディアで取り上げていただく事はとてもありがたく、今年は特に来場者の農場での滞在時間が昨年より長くなった。他のイベントでも同様の効果はあると思う。

委員：私も麻生区に長く住んでいて、農場の野菜売り場より先に入って良いんだということを知らなかった。ニュースを見て初めて分かった。

委員：＜イベントの事前告知にも力を入れて欲しい＞

・イベントの取材はとてもありがたいが、見る側からすると事前の告知にも是非力を入れていただきたい。

・川崎市でも行政番組ができないか検討していきたい。

・多摩区の区民会議ではPR映像(15秒、30秒、60秒)を作ったので、放送していただけるとありがたい。

・これからも地域プロデューサーと連携してやっていきたい。

(回答)事業者：今「川崎市市政ニュース」をケーブル会社3社で作っています。

2016年度はJ:COMが幹事ですので、＜広報番組を復活していただけるよう＞働きかけていきたい。

(回答)事業者：川崎市は「サッカー大会」などもケーブルテレビ3社で持ち回り幹事ということでやっています。来年度は幹事ですので、是非頑張ってください。

委員：＜広報番組でのニュース枠は難しい＞

・私は「まちテレ」を担当しています。5分枠の「シティスクープ」というコーナーを作っているが、時間が短くいろいろと制限もあり難しい。デイリーニュースを見させていただいて、とても親切丁寧でゆっくりしているのが良いと感じた。今後は、ニュース性のあるものは広報番組では無理があるため、デイリーニュースで扱っていただきたいと考えている。

(回答)事業者：広報番組は月一回更新なので、どうしても＜出来事＞と＜放送＞までのタイムラグが大きく速報性に欠ける。

ニュース的なものはデイリーニュースで放送させていただきたい。

(回答)事業者：デイリーのネタ提供はありがたいので、よろしく願います。

(回答)事業者：今年度1月までのデイリーニュースは4つの局にまたがっていましたが、同じようなネタ(桜まつり等)の場合は地域Pの力関係や早いもの勝ち、という側面がどうしてもありました。その中で実は、町田・川崎局のネタが4局の中で一番多かった。イベントの事前告知などのためには是非前倒しで情報提供をお願いしたい。

また、局内にニューススタジオが出来ましたので、地上波並みにその日のネタを撮って出しすることもできるようになりました。是非情報提供をお願いいたします。

※ここで、欠席予定であった田中委員が到着し、議事に参加することとなった。

委員 : <テレビに出ていただく体験を通してネットワーク構築を>

・町田に限っても、大きいものから小さいものまで、すごくたくさんのネタがある中で何をキャッチアップしていくのかが大変だろうなと思う。

学生だけでなく地域の方もカメラが回ると顔が変わる。テレビで取材されたことが自慢話になり、「次来ないの?」となる。

1回でもそういう体験をしていただくと、そこからまた新たなネットワークが生まれる。

(回答)事業者 : 学生たちが制作したものも、発表の場がなかなか無いので、J:COM チャンネルを通じて発表の場が作れたらいいのかなと考えている。

今年度6月から3月まで、このエリアで140本のネタを取材、放送させていただいた。ほとんど私が選ばなくてもネタが集まってくる状態(ネットワーク)が構築できたのでとてもありがたい。引き続きよろしく願いいたします。

委員 : <地域にいちばん近いメディアとしての役割を活かして欲しい>

・ケーブルテレビは地域にいちばん近い放送メディアであり、そのことをもう少し戦略的に使えと良いのではないか。

・今日本のトレンドが変わりつつある。人口が減り始めていることをマイナスと捉えるのではなく「いい塩梅」になっていくと考えれば、全国一律で競争するのではなく、良い意味での地域自慢ネタをどう位置付けてその豊かさをどうみんなで分かち合えるかという方向性が強まると思う。

・これまでの大学は「教室内で教えること」がメインであったが、これからは小学生がやっているような教室外、地域での学び＝主体的な学びが増えていく中で、例えば地理と理科がドッキングしたりとか、いろんなものが生まれてくる。

住宅を中心とした市街地の豊かな環境の中で、そういう面白い学びの場面が起こってくると思うので、そういう部分にスポットを当ててシリーズ化すれば良いのでは?という感じがする。

以上をもって質疑応答が終了し、午後0時30分に審議会を閉会した。

以上